

2007年3月期 中間決算説明会



2006年11月21日

「光と電波」情報通信・デジタル家電を支える
昭和真空

対前期比較損益(連結)



中間

(単位:百万円)

	当中間期実績	前年実績	増減
受注高	4,712	5,083	△371
売上高	5,647	5,163	484
営業利益	417	△17	434
経常利益	390	△147	537
当期純利益	192	△142	334

対前期比較損益(非連結)



中間

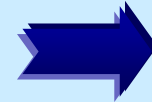
(単位:百万円)

	当中間期実績	前年実績	増減
受注高	4,679	5,118	△439
売上高	5,614	5,197	417
営業利益	418	△32	450
経常利益	396	△34	430
当期純利益	199	△28	227

当社のグループ企業



1. 株式会社エフ・イー・シー



非接触駆動伝達ユニット
の生産・販売

2. 株式会社SPT



光学薄膜の研究開発

3. 昭和真空機械(上海)有限公司



中国製の真空装置の
生産

4. 昭和真空機械貿易(上海)
有限公司



アフターマーケットでの部
品等の販売

5. Sansei-Showa Co.,Ltd. USA



水晶デバイス用計測機器
の製造販売

- 真空装置製造分野で関連機器の設計・製造の実績
- 真空装置内やクリーンルームで求められる発塵の少ない機械装置に使用される非接触駆動伝達機構「マグトラン®」を開発
- 「マグトラン®」は2000年度通商産業大臣賞を授与

■ 会社概要

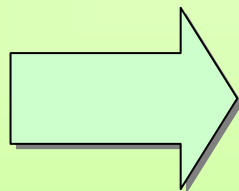
- ・商号 株式会社エフ・イー・シー
- ・代表者 代表取締役 野崎敦雄
- ・所在地 埼玉県狭山市柏原229-3
- ・資本金 12,000千円

「マグトラン®」について



- 特殊マグネットによる、非接触駆動伝達システム
- 機械的な接触がない為、摩擦抵抗とそれに伴う発塵がなく効率的且つ微騒音の搬送環境を造ることが可能。(静粛性を生かした他の用途(医療など)への浸透も可能)

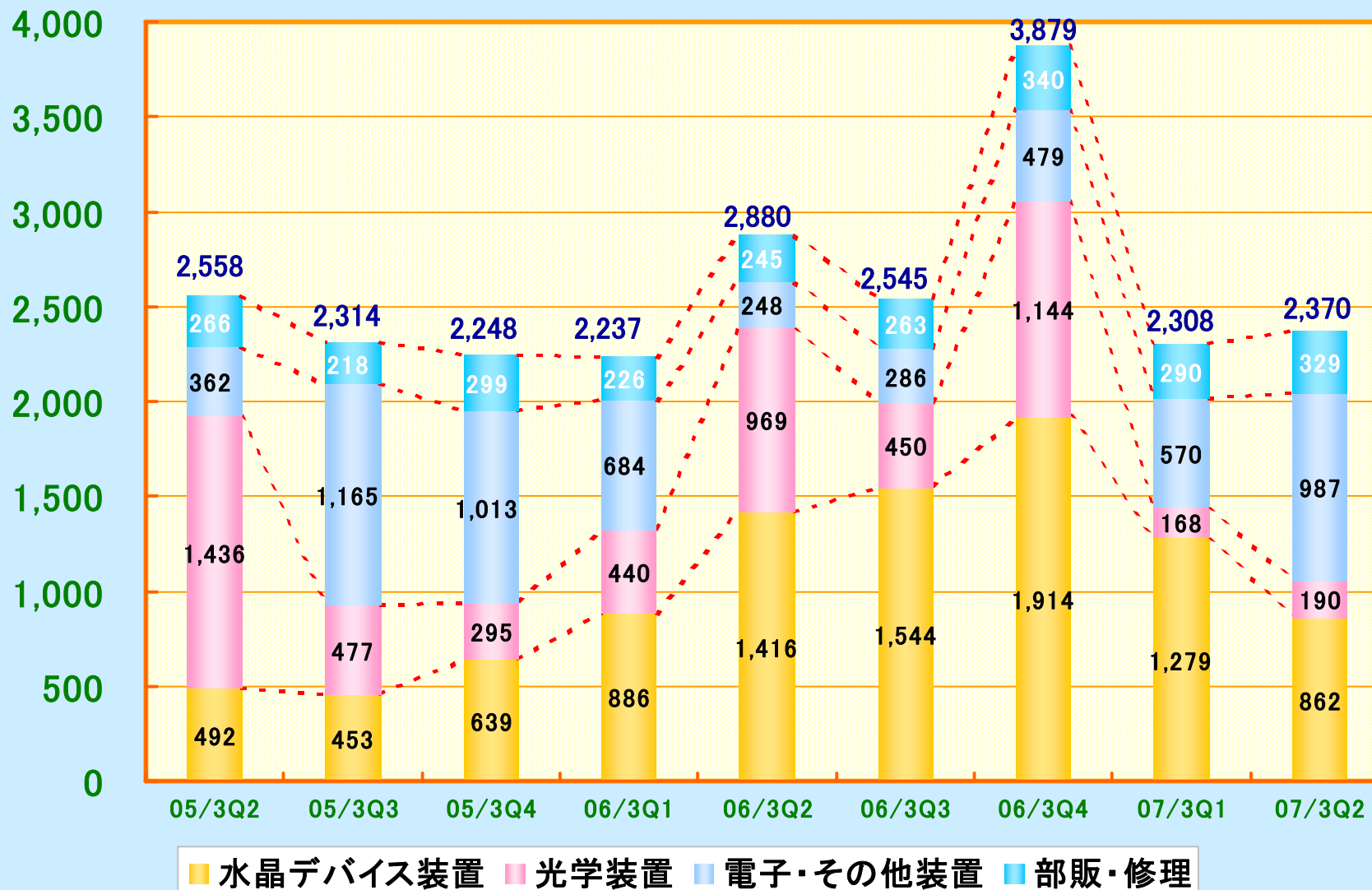
ベルトやギヤ駆動から非接触駆動へ



受注高部門別推移(四半期)(非連結)



(単位:百万円)

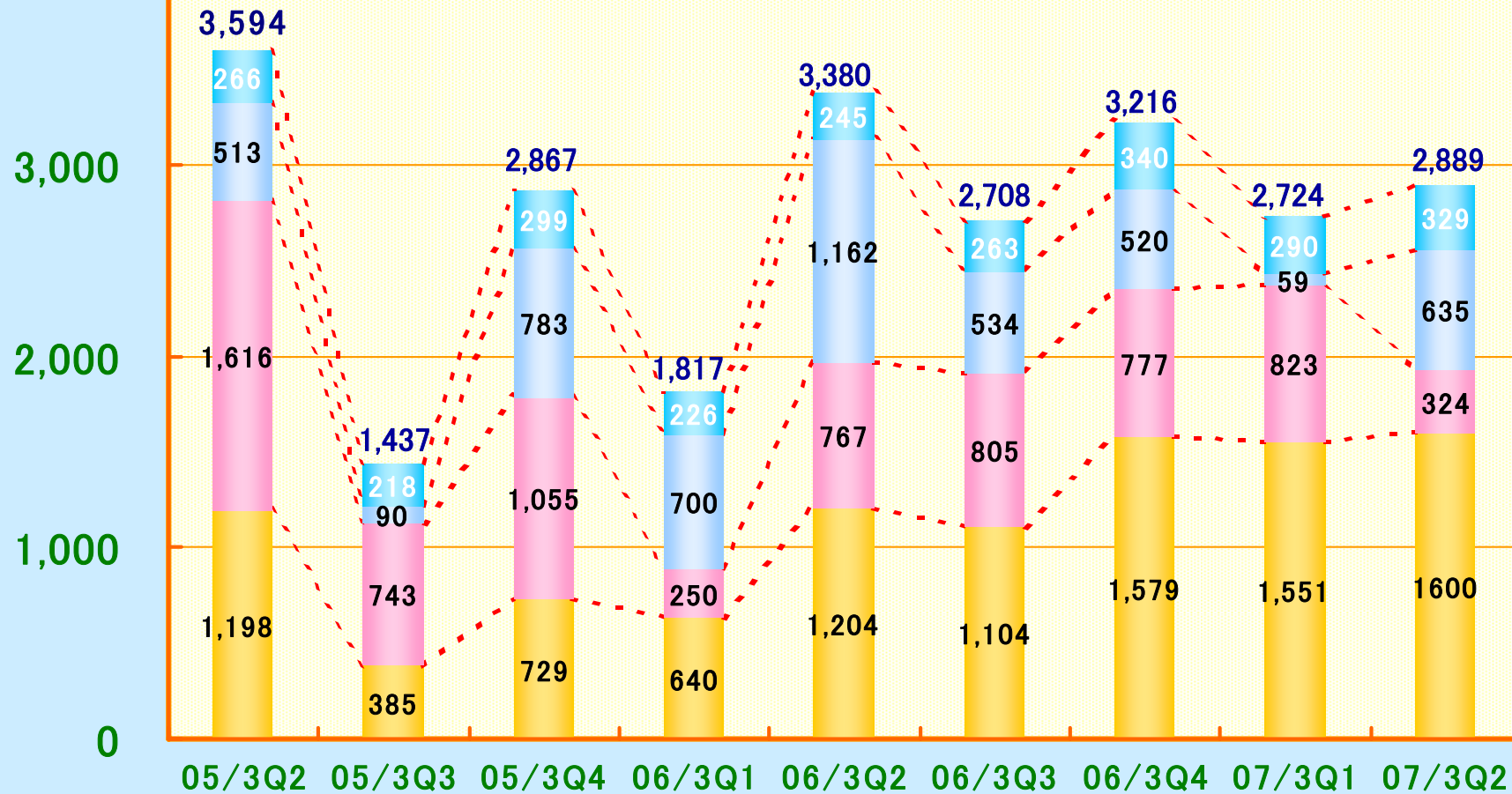


売上高部門別推移(四半期)(非連結)



(単位:百万円)

4,000

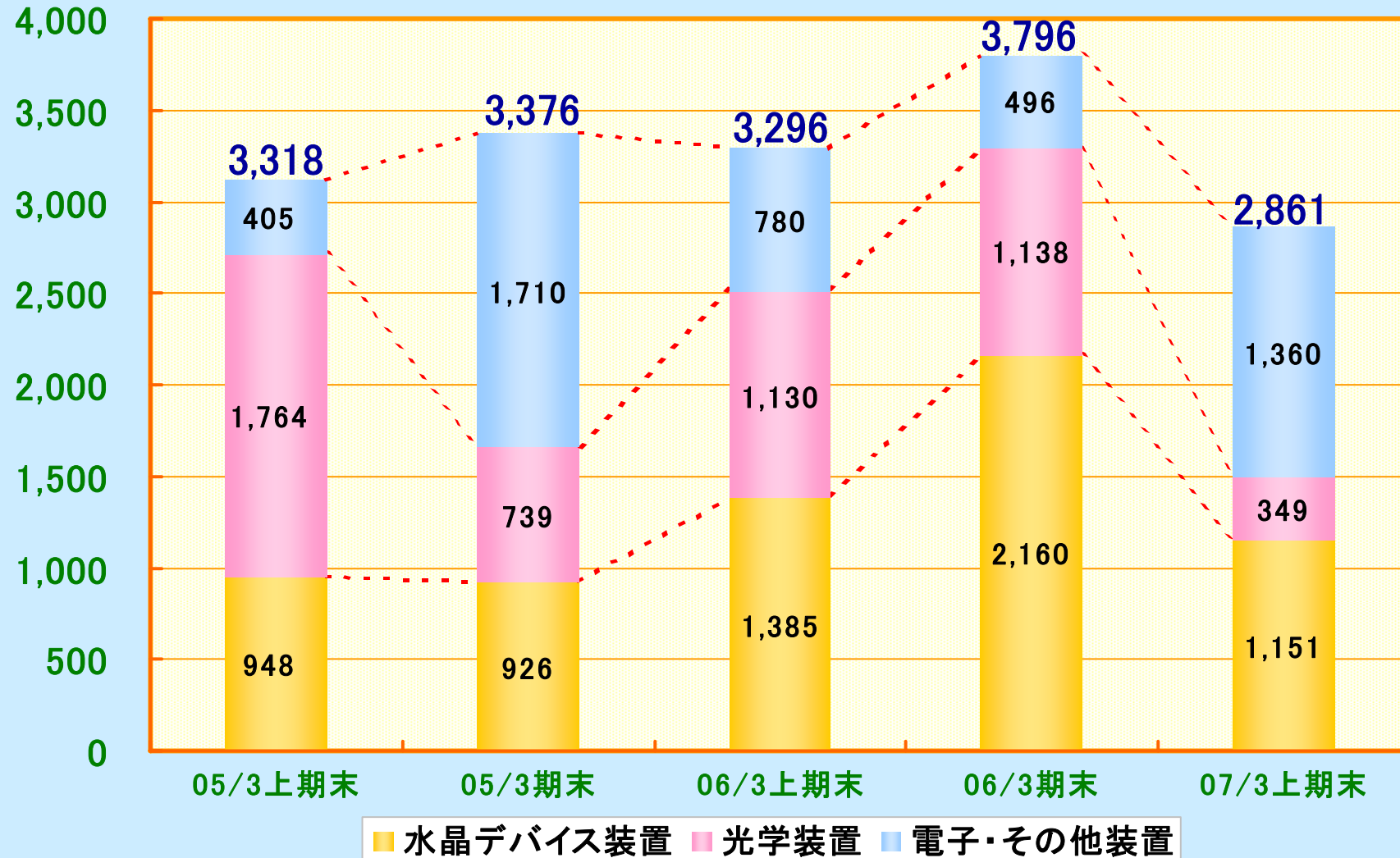


■ 水晶デバイス装置 ■ 光学装置 ■ 電子・その他装置 ■ 部販・修理

受注残部門別推移(非連結)



(単位:百万円)

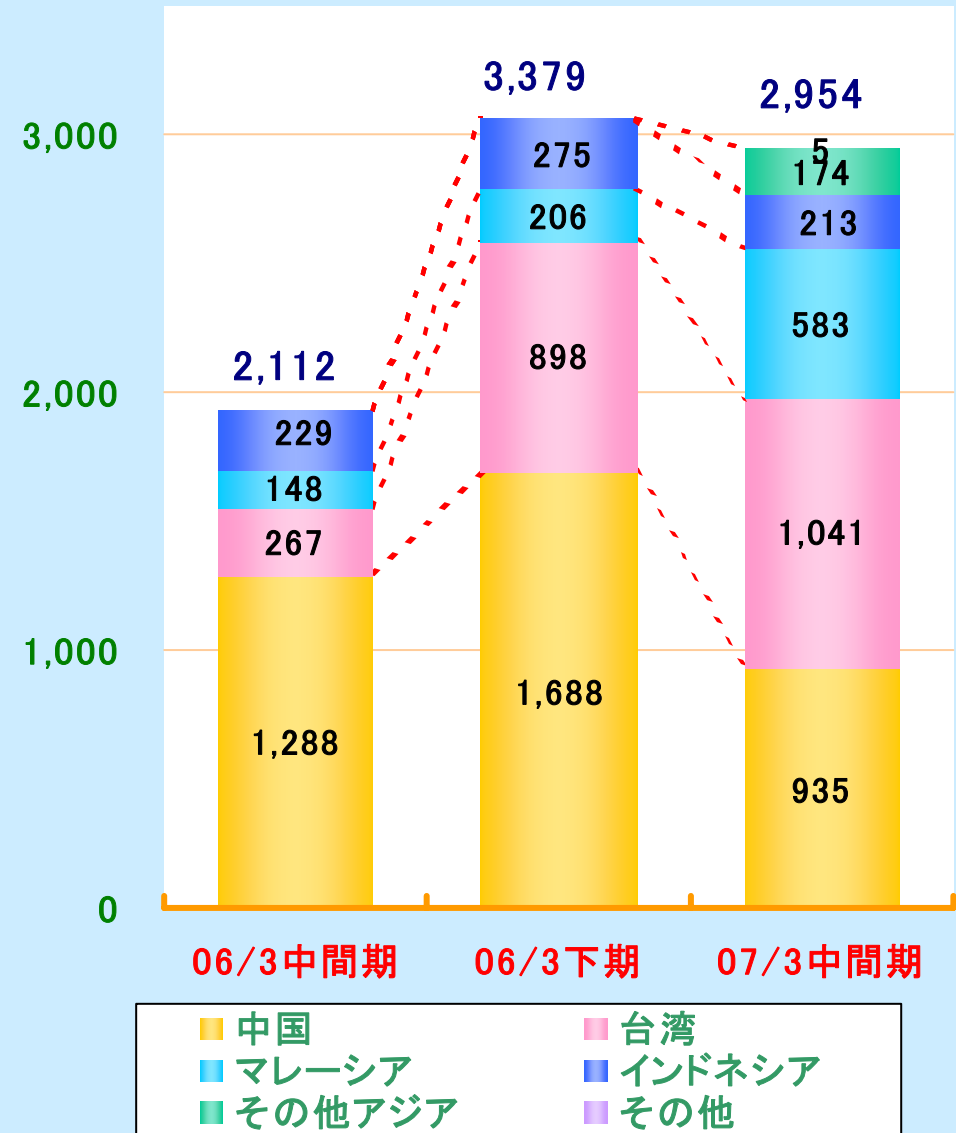


輸出先国別売上高推移(非連結)



(単位: 百万円)

	06/3期 中間期	06年3 期下期	07/3期 中間期
中国	1,288	1,688	935
台湾	267	898	1,041
マレーシア	148	206	583
インドネシア	229	275	213
その他東南 アジア	178	312	174
その他	0	0	5
合計	2,112	3,379	2,954
輸出割合	40.6%	57.0%	52.6%



固定費の推移(非連結)



(単位: 百万円)

	06/3中間期	07/3中間期	06/3中間期比 増減額
売上高	5,197	5,614	417
製造原価内の労務費+経費 +販売費一般管理費	1,548	1,529	-29
人件費	807	872	65
広告宣伝費	35	37	2
旅費交通費	116	93	-23
交際費	13	10	-3
賃借料	38	34	-4
支払手数料	117	129	12
減価償却費	132	118	-16
事務用品費	17	18	1
電力電灯費	35	33	-2
その他	238	178	60

B/S分析(連結)



(単位:百万円)

	06/3期	07/3期中間	増減額	主な増減要因
資産合計	14,390	13,928	▲ 462	
流動資産合計	8,566	8,063	▲ 503	現預金▲330 仕掛品▲243
固定資産合計	5,823	5,865	42	
負債合計	6,827	6,270	▲ 557	
流動負債	6,216	4,562	▲ 1,654	短期借入金▲780 社債(1年内)▲700
固定負債	610	1,708	1,098	社債1,000
資本合計	7,562	7,658	96	
	06/3期	07/3期中間	07/3期計画	主な増減要因
設備投資額(有形固定資産)	113	10	130	
研究開発費	446	202	443	
減価償却費	267	117	253	
期末従業員数(人)	232	235		

キャッシュフロー分析(連結)



(単位:百万円)

	06年3月期中間	07年3月期中間	主な要因
営業活動によるキャッシュフロー	▲521	326	税引前利益 394
投資活動によるキャッシュフロー	▲62	▲173	子会社株式等 ▲156
財務活動によるキャッシュフロー	637	▲514	借入金 ▲800 社債 281
現金及び現金同等物に係る換算差額	6	▲1	
現金及び現金同等物の増減額	60	▲364	
現金及び現金同等物の期首残高	1,282	2,229	
現金及び現金同等物の期末残高	1,342	1,864	

業績の見通しおよび今後の戦略



2007年3月期通期計画



(単位: 百万円)

	上期実績 (非連結)	下期計画 (非連結)	通期計画 (非連結)	通期計画 (連結)
受注高	4,679	6,154	10,833	11,000
売上高	5,614	5,953	11,567	11,688
経常利益	396	240	645	614
当期純利益	199	94	294	248

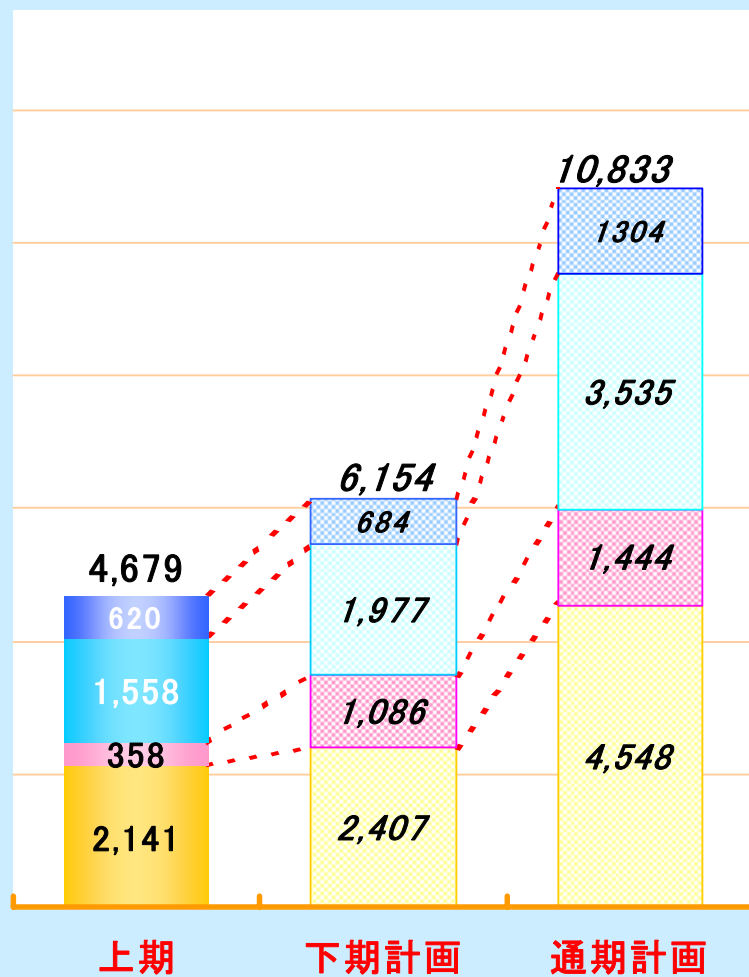
部門別受注・売上予測(非連結)



受注

(百万円)

売上



12,000

10,000

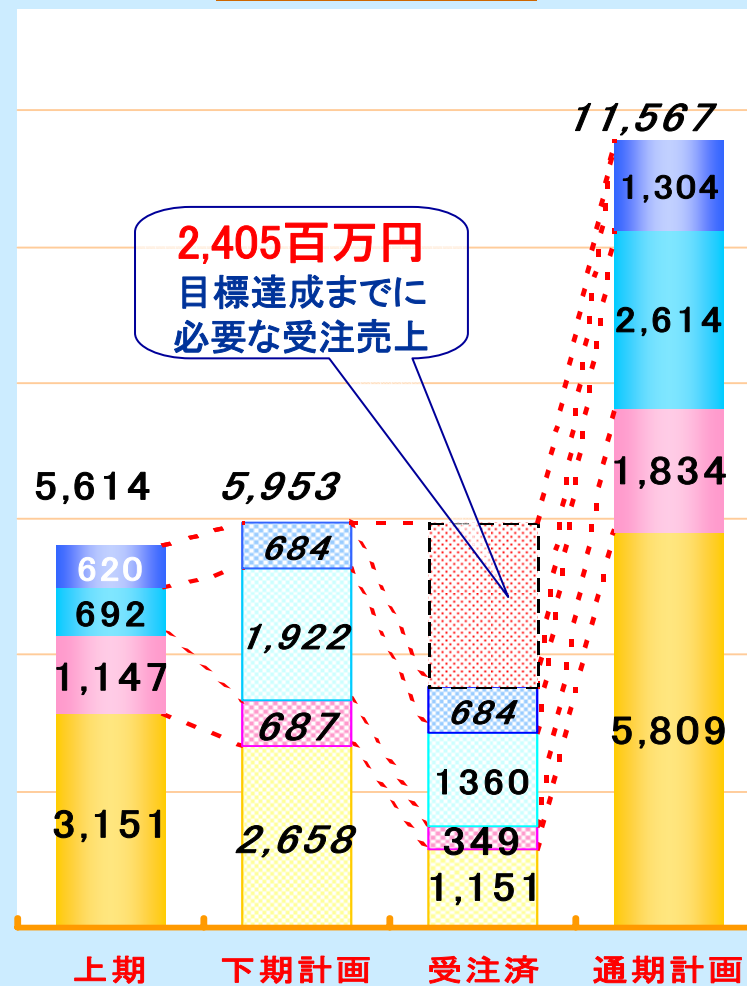
8,000

6,000

4,000

2,000

0



上期

下期計画

受注済

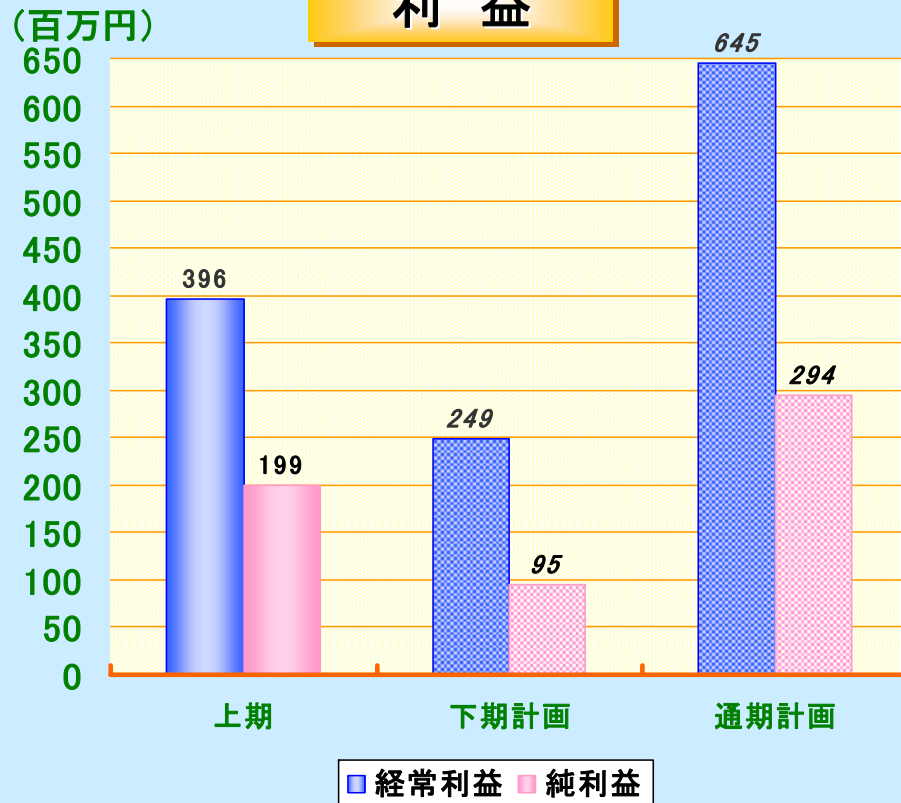
通期計画

■ 水晶 ■ 光学 ■ 電子・その他 ■ 部販・修理

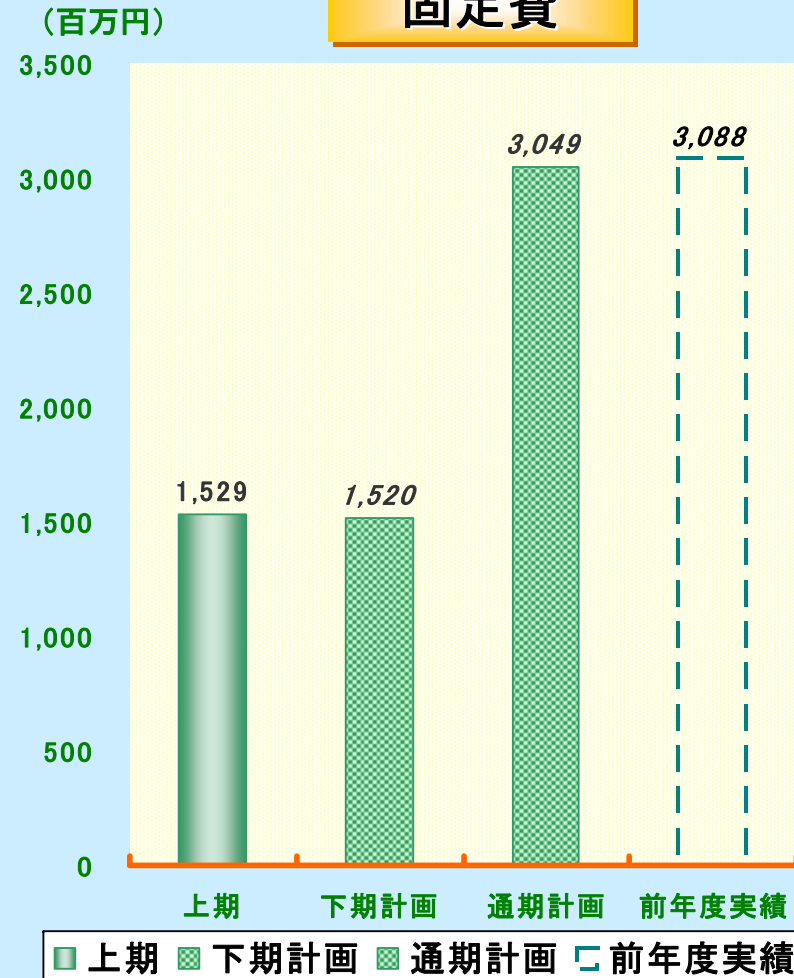
利益・固定費 計画(非連結)



利益



固定費



【連結決算】

	上期	下期計画	通期計画
経常利益	390	224	614
純利益	192	56	248

1. 世界での携帯電話の生産台数は10億台

2. 水晶デバイス市場の生産は拡大傾向

3. 光学部品メーカーの設備投資の停滞

4. 大型フラットパネルテレビ市場の拡大

当社の対応と戦略



1. 次期戦略装置の開発と拡販

2. 事業のグローバル展開

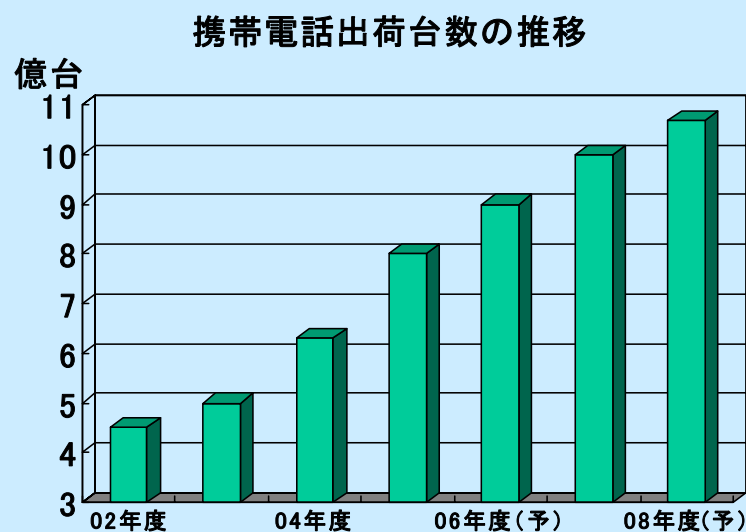
3. 経営改革の推進

4. 継続的なコストダウン

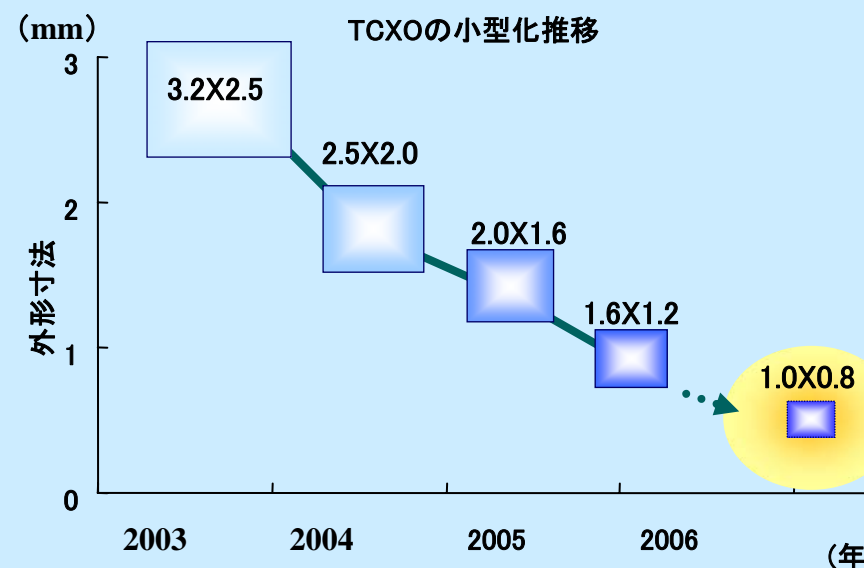
水晶デバイス装置部門の動向と対応



- 携帯電話用・自動車用デバイスの需要拡大
- 水晶デバイスの軽薄極小化が加速
- 台湾系デバイスメーカーの中国進出
- 超・軽薄極小に対応した装置の市場投入及び拡販



(各種資料より昭和真空作成)

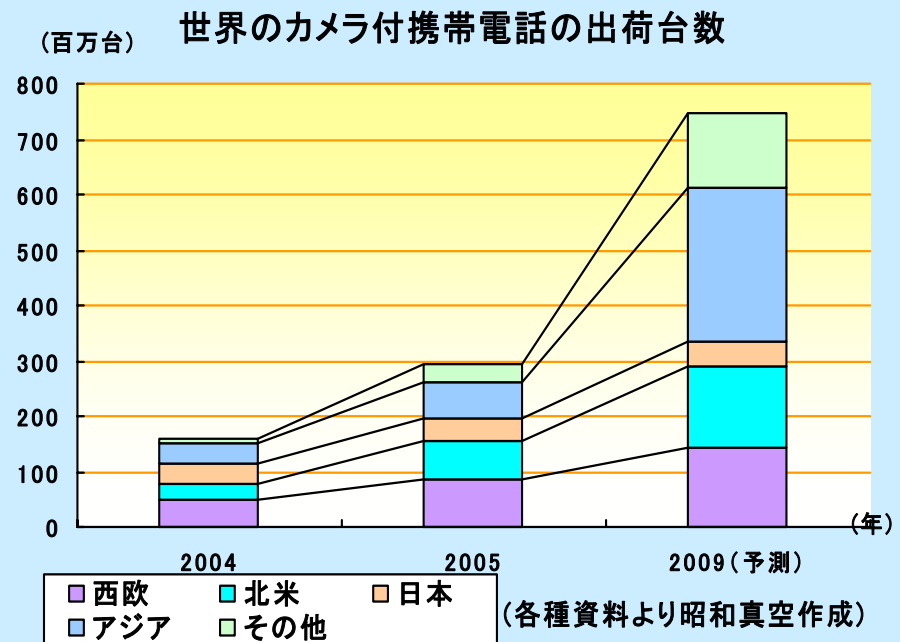
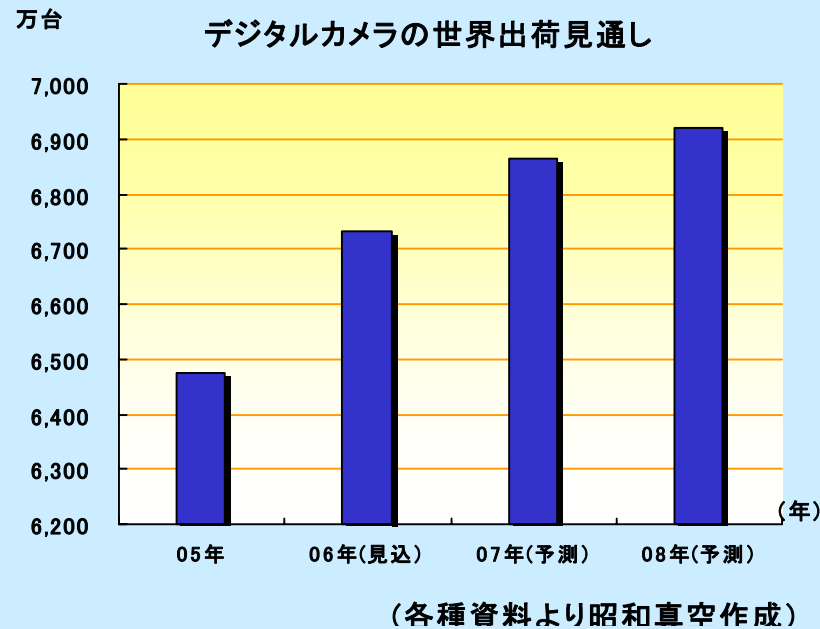


(水晶デバイス工業会資料を基に作成)

光学装置部門の動向と対応



- 光学デバイスは回復しつつあるが、設備投資意欲には慎重
- 海外市場におけるカメラ付携帯電話の需要拡大
- プラスチック基板への成膜装置及び成膜ソフトの開発
- SGC-1300シリーズの拡販

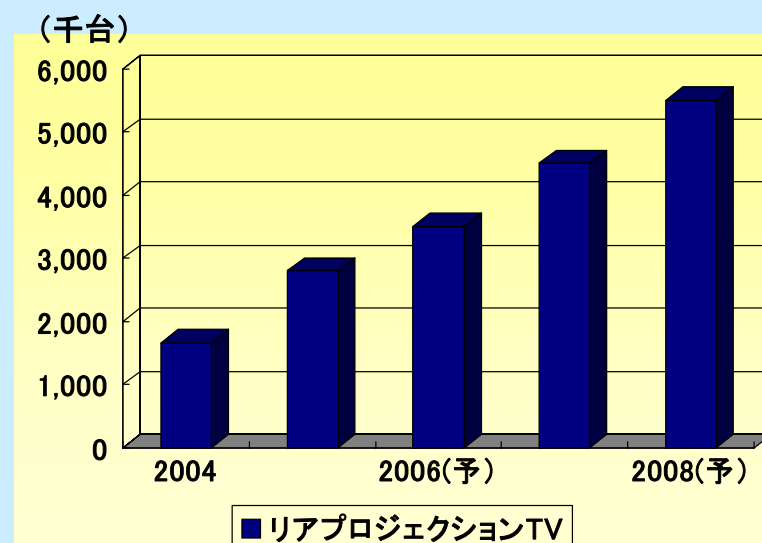
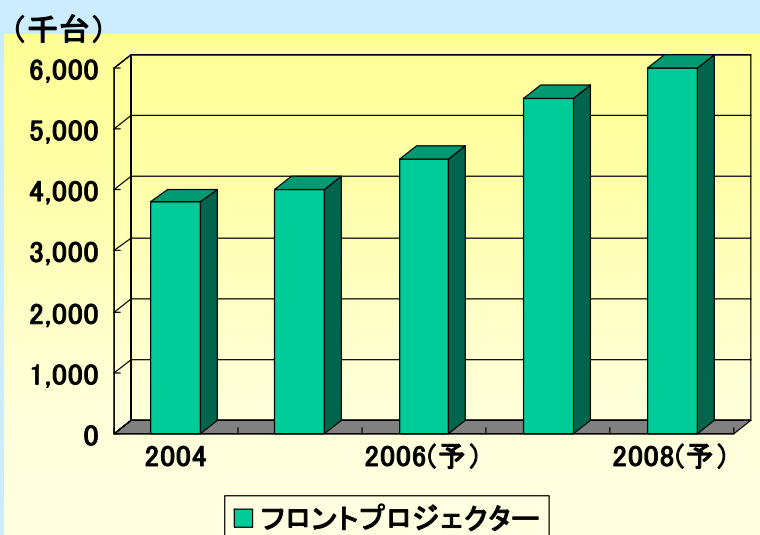


電子・その他装置部門の動向と対応



- 携帯電話・自動車関連のデバイス生産が拡大中。
- リアプロジェクションテレビの海外市場の拡大。
- 医療機器分野での売上拡大。
- プロトタイプ装置の積極的受注。

投射型ディスプレイ生産台数推移



(各種資料より昭和真空作成)

今日はありがとうございました。



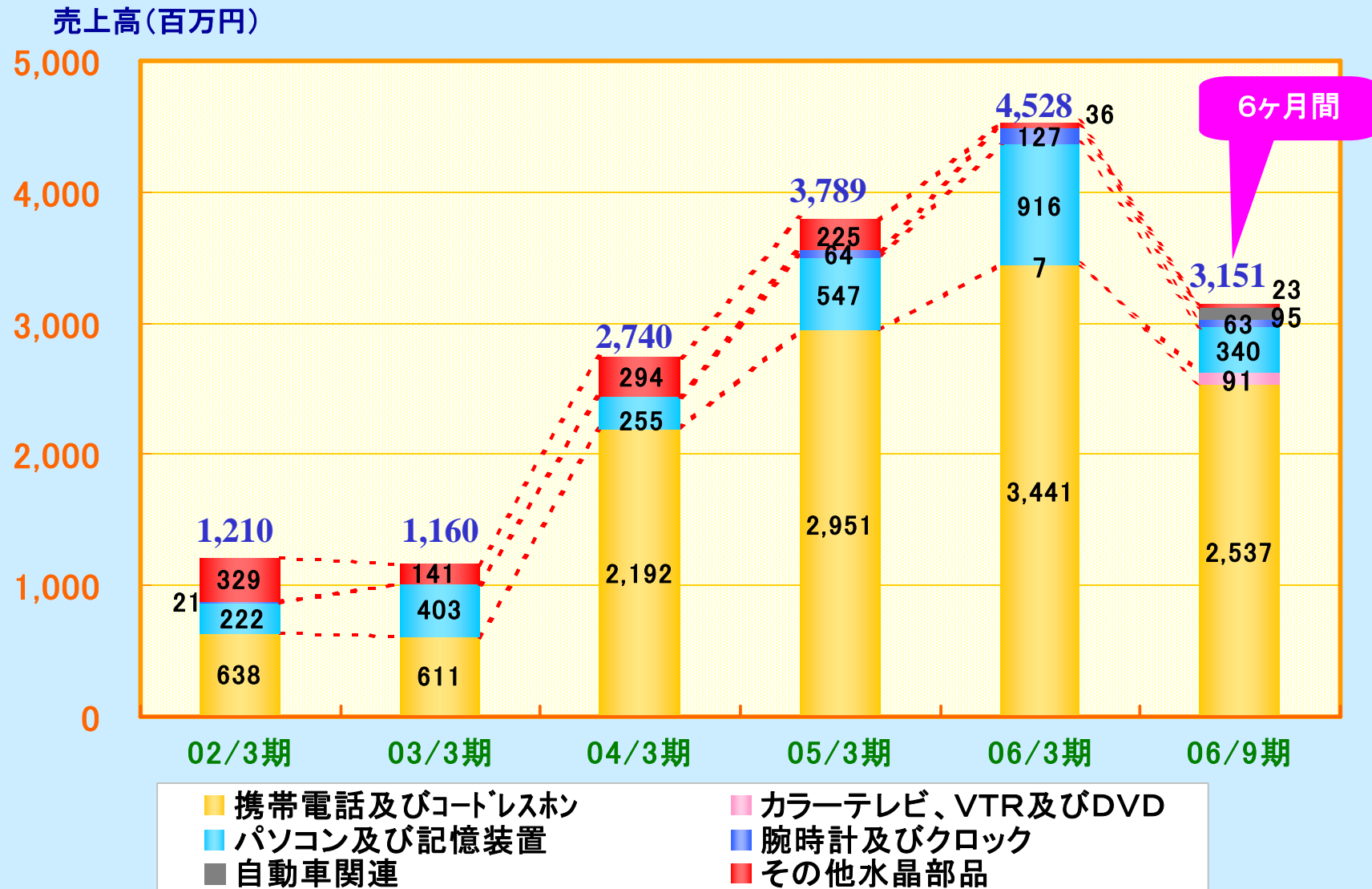
digital revolution

One Year

**当社装置により生産される製品の
市場別割合（装置売上のみ）**



水晶部門の市場別割合推移

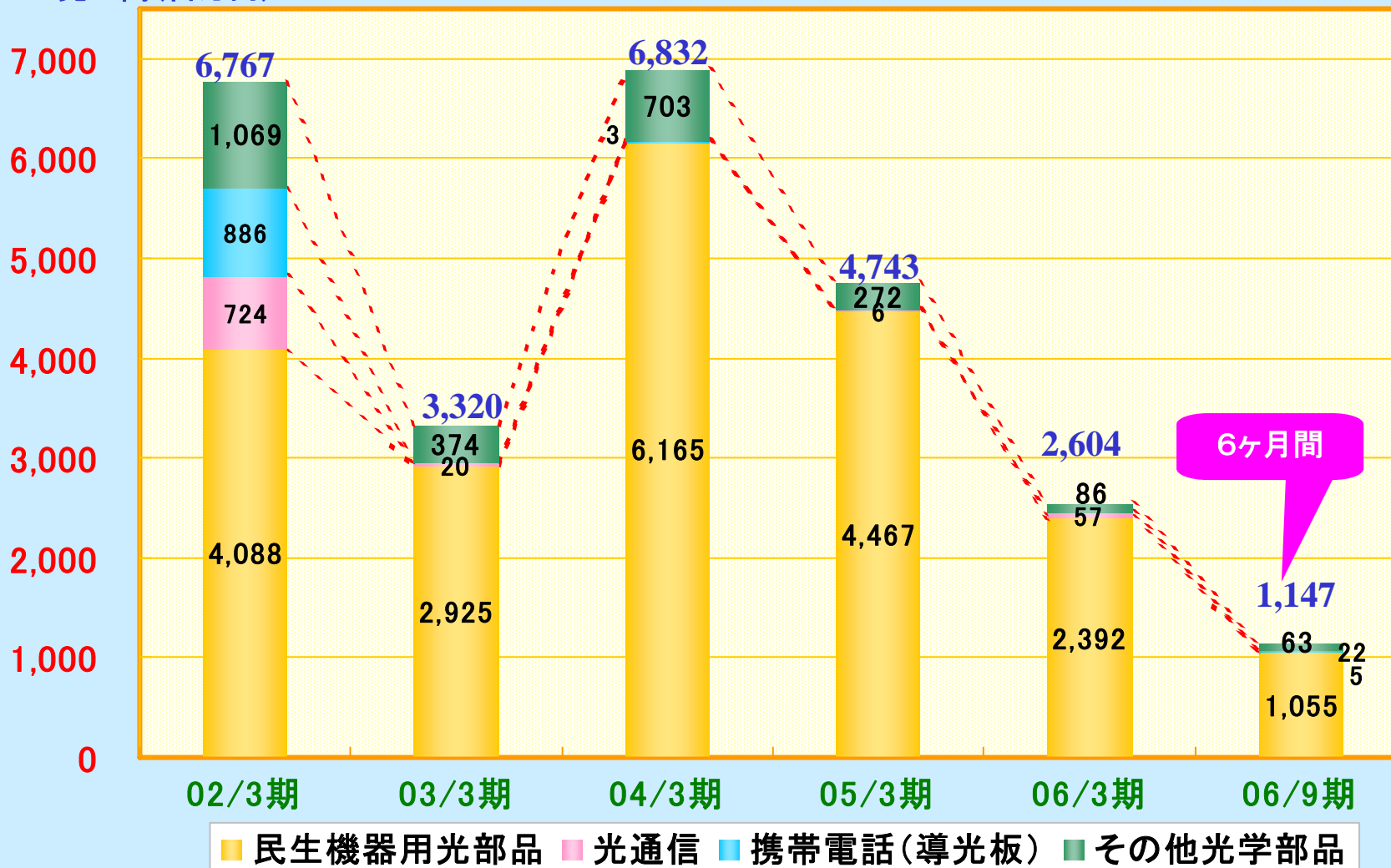


(注: 昭和真空調べ)

光学部門の市場別割合推移



売上高(百万円)

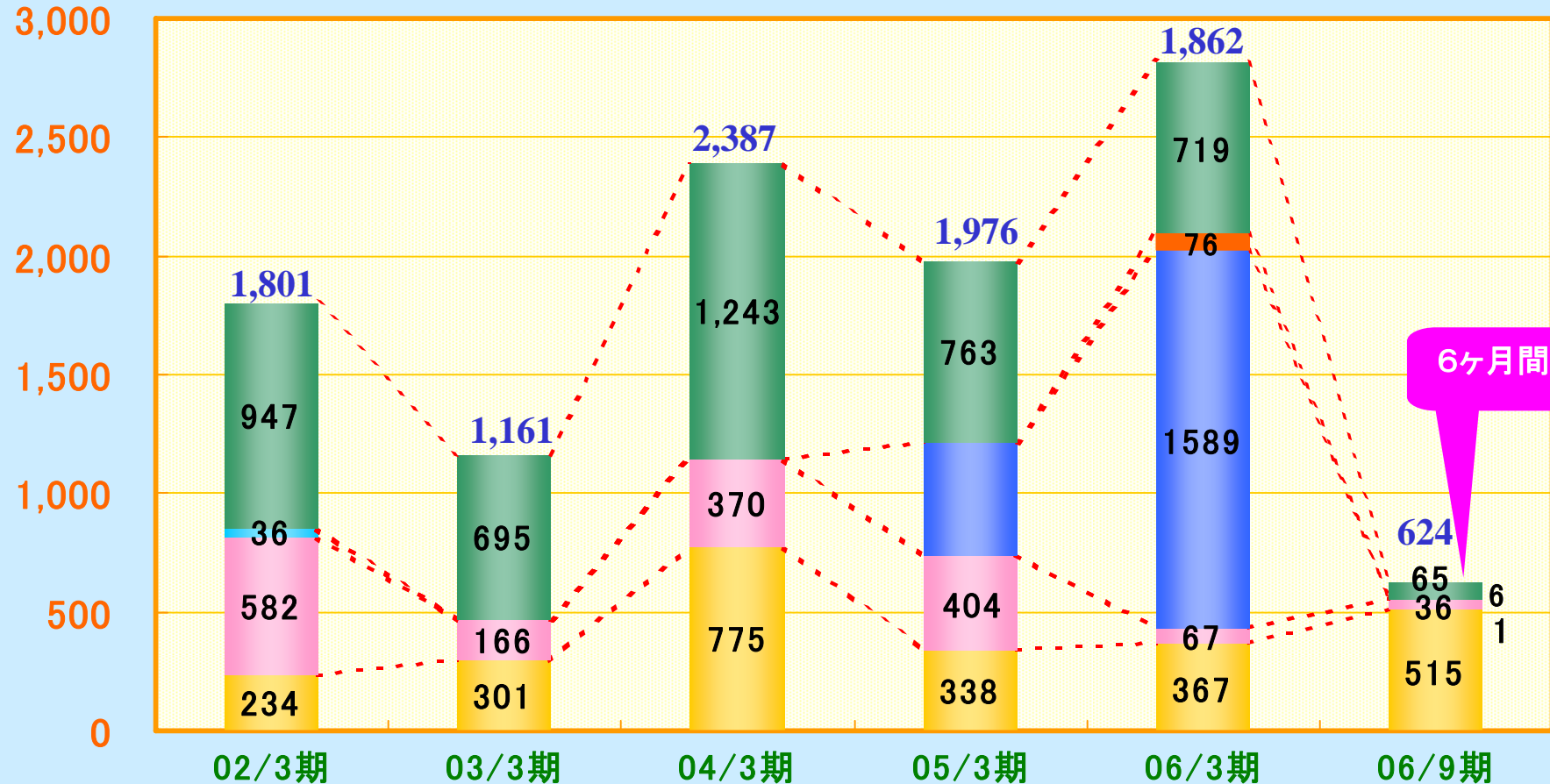


(注:昭和真空調べ)

電子・その他部門の市場別割合推移



売上高(百万円)



- 携帯電話 (SAWフィルタなど)
 - パソコン (液晶など)
 - 光通信
 - リアプロジェクション
 - 有機EL
 - その他 (装飾、太陽光発電など)
- (注: 昭和真空調べ)